

11月の 園便り



園庭の階段がある山、毎日子どもたちが登ったり下りたりするたびに、次第に土が削られて、ところどころ穴ができてしまいました。白ばらの子どもたちが自主的にその穴を埋めようとしていた姿を実習生が日誌に書き残していました。

みのり君、かん君、よしたか君、あきひさ君が「山が壊れちゃった、直さなきゃ」と言っていた。4人は別の所の砂を掘って台車に入れて運んできた、みのり君は掘ってきた砂を崩れている場所にのせて、スコップで叩き、固めようとしていた、かん君が砂だけでは固まらないことに気づいて「砂に水を入れます、泥をつくります」と言っていた。それを聞いたみのり君は「コンクリートにするんだね」と言い、みのり君とかん君は二人で水を汲みに行った。保育者は、砂が足りないことに気づき、「先生はあっちの砂を掘るから、みんな運んでくれる？」と声をかけると、かん君は保育者が掘った砂を台車に入れて運び、穴に入れた。みのり君とよしたか君あきひさ君は砂に水を含ませてスコップで叩いて固めていた。その作業をしながらかん君は「赤ばらさんの時にはこんなことできなかったけど、白ばらさんになったらこんなことができるなんて、すごいね～」と言っていた。穴が開いたところに砂を埋めていく仕事に、けいしろう君やりんちゃん、みなみちゃんも加わり、みんなで協力してやっていた。

担任の話では、赤ばらさんの頃にも、みんなで穴を埋めて直そうとしたことがあったのですが、その時には担任が中心になって進めていましたが、この事例では、白ばらさんになって、穴を気にかけていたみのり君が中心になってやっていました、とのことでした。穴が開いているから山が崩れるかもしれないと心配していたみのり君、“水を混ぜるとコンクリートになる”この表現もいいですね、そして、かん君の赤ばらさんの時と白ばらさんになったときの違いを表現している言葉も素敵ですね。自分たちに力がついてきたことを、工事をしながら実感しています。

赤ばらさんの頃には、砂を運ぶのも重くて大変だったことでしょうし、土を叩く力も弱かったから、たぶんととても難しい仕事に感じたことでしょう。でも、白ばらになったら、力もつき、知恵も働かせ、役割を分担して協力するということもできて…みんなでやると楽しいですし、一層力が入ります。そして、友だちの工事の姿を見て、他の友だちが自然な形で加わって協力する姿も素敵です。遊びの中で培ってきた知識を生かして、友だちと協力し協働する力がついて、子どもたちだけで進めるようになってきた白ばらさんです。担任は、子どもたちがやっていることを邪魔しないように 子どもたちの姿を見守りながら、“ここ”というところで必要な手助けをするようにして、子どもたちが主体的に考え、学ぶことを大切にしています。

11月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	水	○	2:00		
2	木	○	2:00		
3	金	/	/	文化の日	
4	土	×	11:30	自由登園日	
5	日	/	/		
6	月	○	2:00		
7	火	○	2:00		
8	水	×	11:30	新入園児さんの保護者会がありますので降園時間が早くなります。	
9	木	○	2:00		
10	金	×	11:30	青陵幼稚園研修会を行います。 降園時間が早くなりますが よろしくお願ひいたします。	
11	土	/	/	第2土曜日	
12	日	/	/		
13	月	○	2:00		
14	火	○	2:00		
15	水	×	11:30	誕生会です、11月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう	
16	木	○	2:00		
17	金	○	2:00		
18	土	×	11:30	自由登園日	
19	日	/	/		
20	月	○	2:00		
21	火	○	2:00		
22	水	○	2:00		
23	木	/	/	勤労感謝の日	
24	金	○	2:00		
25	土	/	/	第4土曜日	
26	日	/	/		
27	月	○	2:00		
28	火	○	2:00		
29	水	○	2:00		
30	木	○	2:00		